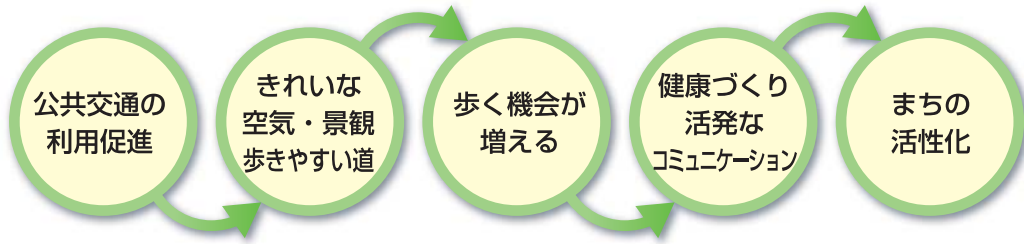


5 公共交通を守り・育てよう

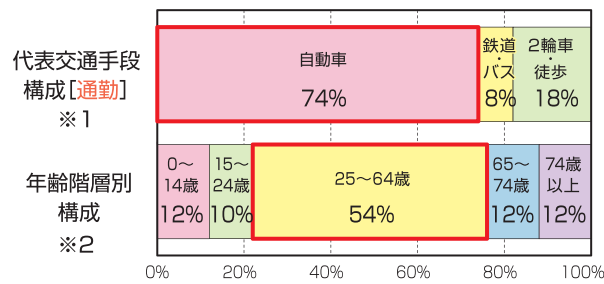
新潟市では“健幸都市”を推進しています



本市では、過度な自動車での移動に頼らず、歩きたくなる歩道や賑わいの場があり、外出して体を動かす機会が自然と増えるようなまちづくり“健幸都市づくり”（Smart Wellness City）を進めています。自動車は便利な乗り物ですが、そればかりに頼らず、公共交通や徒歩などを組み合わせた移動を考えてみましょう。

エコ通勤を実施してみませんか？

皆さんの日常的な移動目的の一つとして「通勤」があります。この通勤で自動車を利用する割合は**74%**と高いことに加え、総人口に占める通勤世代（25～64歳）の割合も**54%**と対象者が非常に多いことが特徴です。市では、自動車利用に大きな変化をもたらすことができる「**エコ通勤**」をお勧めしています。



※1 資料：新潟市内都市交通特性調査（H23）
 ※2 資料：国勢調査（H22）

エコ通勤の普及拡大

エコ通勤を継続して、楽しみながら取り組んでいただこうと普及拡大に努めています。



【エコ通勤チャレンジサイト】



【エコ通勤用自転車貸出】



【ノーマイカーデー】



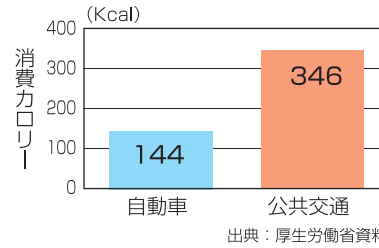
公共交通を利用すると、こんな良いことがあります！

健康の増進

クルマ利用に比べて、毎日のカロリー消費量を上げることができます。

【移動手段別の消費カロリー】

男性30代、65kgの人が20km通勤した場合



公共交通はクルマに比べて**200kcal**多く消費！
 （体脂肪に換算すると28g）



有意義な時間の創出

クルマだと、常に運転集中 渋滞があるとイライラ...

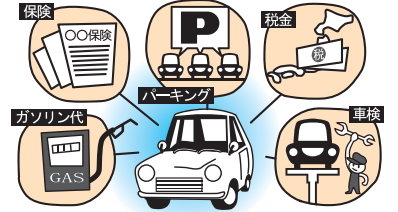


公共交通なら... 移動中に考えたり、景色を見たり、本を読んだり、メールやSNSを確認してみたり、ちょっと寝てみたり... 帰りにちょっとお店でお酒を一杯! だってできる

家計にやさしい

車両価格150万円の車を7年間使用する場合

1日当たりの維持費 **＝約1,800円**



...クルマって意外に経費がかさんでいます。

安全な移動

事故に遭遇する危険が減ります。

50年間1万km走行し続けると...

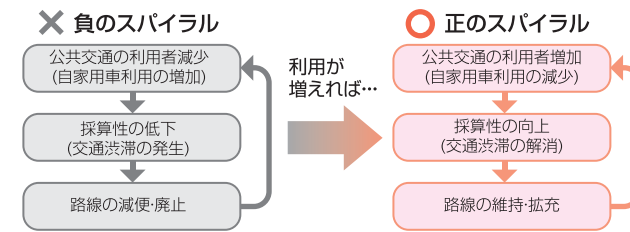
300人に1人が**事故死**
 250人に1人が**死亡事故の加害者**



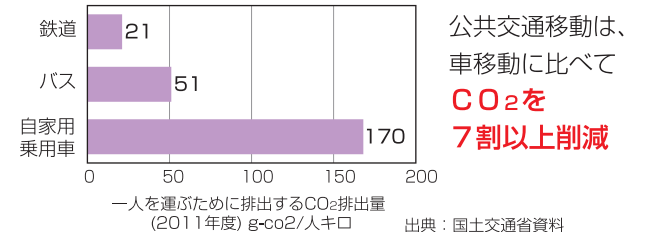
出典：谷口綾子氏(筑波大学)資料

利用が増えれば、社会的にこんな効果が期待されます！

公共交通の充実



CO2排出量削減



さらにもう一言...

人生の4割以上はクルマ以外の交通手段を必要としています！

人生約85年のうち、赤ちゃんから学生までの約20年間と、クルマの運転がしにくくなる70歳からの約15年間、飲酒やケガ等でクルマが運転できなくなれば、それ以上の場面において、公共交通等が必要です。

